

ヘルスケアアートについて HEALTHCARE ART

ヘルスケアアートとは、病院や福祉施設などケアの現場にアートやデザインを取り入れて、患者さんやご家族、スタッフの方々に向けて、より快適な環境やコミュニケーション、体験などを提供する取り組みです。東部医療センターの新病棟にも導入され、スタッフの皆さまにもご協力いただきました。

ヘルスケアアートなごや宣言 2020
「ヘルスケアアートは風のように」

病で病院に通い入院するとき
老いて高齢者施設で生活するとき
困難を感じて生きていくとき
モノトーンの施設の風景と変化の少ない生活が
不安と緊張をもたらし自分らしさが消えていく

そこに、爽やかに吹き抜ける風があった
その風はヘルスケアアート
ヘルスケアアートは
デザインとアートによって人と人が支え合う営み
問題を解決するデザインと人に寄り添い祈るアート
曖昧で人間味あふれる風は対話と共感を生み
生活に彩りと感動をもたらす

ヘルスケアアートに包まれる居心地よさ
ヘルスケアアートに参加する喜び
人々に支えられ困難と向き合いながら
笑顔で人間らしく過ごす力を取り戻す
誇りを持って働く職員
信頼できる医療と優しいスタッフたち
安心できる居場所がまちにあり
日常を過ごす地域へとつながる

日本中にヘルスケアアートの風を巻き起こしたい
多彩な人材と出会いつながろう
実践を積み重ね効果を話し合おう
ヘルスケアアートで支え合う仕組みを考えよう

ヘルスケアアートの風を束ねて大きなうねりを起こそう

アートで
ケア環境を元気に!!
もっと東部医療センター
高次ウイルス感染症センター(コロナ病棟)への
ヘルスケアアートのご提案と
アンケート協力をお願い

東部医療センターのスタッフの皆さま、いつも本当にありがとうございます。
この度、コロナ病棟の患者さん・スタッフの皆さまのためのヘルスケアアートを、名古屋市立大学芸術工学部 鈴木研究室(東部医療センター新病棟のヘルスケアアートを担当しました)と全国からの参加者の皆さんとで、企画検討しました。
この冊子の中面に8つのアートのご提案がありますので、それらをご覧いただき、それぞれの提案に対する評価と、実施を希望するアートを1つ選び、その理由や要望等を別紙のアンケートにご記入ください。アンケート結果を参考にして、11月頃にアートを実施したいと考えています。お忙しいなか大変恐れ入りますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

アンケート期間

2021年9月15日(水)~22日(水)

- ※記入いただいたアンケート用紙は、薄い黄色の封筒に入れてください。
- ※アートの導入に際しては病院側のご負担ご迷惑にならないよう留意し、状況に応じて適宜、調整・対応いたします。
- ※記入いただいた内容は、アート実施の参考にするほか、本事業の報告会や報告書で使用させていただきます。
- ※ヘルスケアアートやこの事業についての詳しい説明は、裏表紙に記載しました。そちらもよろしければご参照ください。

なごやヘルスケア・アートマネジメント
推進プロジェクトとは

名古屋市立大学では、2018年度から文化庁の「大学における文化芸術推進事業」に採択をいただき、ヘルスケア分野のアートマネジメント人材の育成に取り組んでいます。医療系・人文社会系・芸術工学系を擁する本学の人材と、20年以上にわたる芸術工学部でのヘルスケアアートの実績を活かしつつ、2021年度からは各地で展開されるヘルスケアアート活動をつなぐオンラインネットワークの構築を試みながら、医療福祉施設へのアートの企画提案や事例収集、海外の関連資料を読む学習会などを実施しています。今回の東部医療センターへのアート提案の事業も、その一つです。事業の詳細はHPをご参照ください。これまでに開催した講座の講義録やワークショップの活動報告、今後の事業予定などを掲載しています。



▲HP QRコード

なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト事務局
〒464-0083 名古屋市千種区北千種2-1-10 名古屋市立大学芸術工学部内
E-mail: healthcare_art@sda.nagoya-cu.ac.jp
HP: https://healthcare-art.net FAX: 052-721-3110

8つのアート提案一覧

- 1. 自然を感じるパーテーションアート**
- 2. 動物が励ましてくれる日常グッズアート**
- 3. 森からの贈り物Ⅰ**（コロナ病室を「森の療養室」に気分転化する）
- 4. 森からの贈り物Ⅱ**（EVホールを医療スタッフを応援する森の伝言板に）
- 5. デジタルアートで病室にホッと一息つける窓を**
- 6. スタッフステーションにもホッと一息つける窓を**
- 7. 癒しのイワシトルネード**
- 8. みんなで共有！ゆびさんぽ**

自然の風景の中で動物たちと遊ぼう!

1 ～自然を感じるパーテーションアート～

トイレ用パーテーション



<2 企画全体コンセプト>

患者さんの心に寄り添う2企画を提案。入院中の閉塞感を軽減するために、視覚や感情に訴える自然&動物のアート空間を演出します。それらをリンクさせることで生まれるちょっとした「遊び」の仕掛けも! 消毒や破棄できるアイテムで、医療従事者の負担軽減を考慮します。

対象：患者さん

場所：トイレパーテーション、ベッド周り

目的：リラックス空間で、自然や動物とつながって安心感を得る

<企画①トイレ用パーテーション>

- ・パーテーションに消毒対応シートを貼る
- ・開放感を演出する世界の景色を病室ごとに数種類用意
- ・動物たちが潜んでいたり遊んでいたりしそうな自然の風景

自然の風景の中で動物たちと遊ぼう!

2 ～動物が励ましてくれる日常グッズアート～

紙コップ&ティッシュボックス



<企画②紙コップ&ティッシュボックス>

東山動物園コラボ企画

をメインに想定

・人気動物をあしらった紙コップ&ティッシュボックスで無機質な病室に彩りを提供

・紙コップのデザインは飽きないように複数用意（看護師さんの押し動物は?)

・トイレパーテーションの風景を背景に紙コップをかざせば、動物がお見舞い!

・QRコードから外の世界へ繋がる!

- 動物たちからの励ましのメッセージ

- 【AR案】風景の中にARの動物が現れる

- 【動画案】毎日更新される動物園の動画

3 森からの贈り物Ⅰ (コロナ病室を「森の療養室」に気分転化する)



①病室の壁に「森の景色が広がる」窓をつくる。病室に入った瞬間に「森の中の病室」の印象をつくる。仕掛けは単純：額縁フレームの中に展開する森の風景パネル「自然や他の生命と触れたい」人本来の潜在欲求に働く

②病室に居ながら、「森の声を聴く」。日本の名所8か所の自然環境音が聴ける「Forest Notes (音響メーカーのケンウッド提供の無料登録サイト) へ誘う、音の旅の始まりです。

③風を感じる「葉っぱのオブジェ」
コロナの熱に対する不調を気分的に軽減させてくれる「微風・涼風」を五感で感じる。病室内で生まれる風の力をかりて、葉っぱの小アートが、揺らめきや葉擦れを視覚・聴覚に優しくささやきかけます。

④「言の葉」=メッセージリーフ
「葉っぱ・花・蝶」の形のカードセットは、自分への励ましや医療スタッフへの感謝を綴って、こころを落ち着かせる時間をつくる。綴ったカードは、11へと関連。

⑤「コケリウム」=小さな自然を枕元に置く。
小さな植物に生命の息吹を感じて頂ける機会は、コロナ禍だからこそまた意味のある生きたアートオブジェになります。共生=多様な生き物が一緒に生きる

⑥森林浴をイメージしたフィットネスカード
ベッドサイドで出来るストレッチや深呼吸を効果的に行うための気軽なフィットネスへ誘う。自然界にあふれる 1/fゆらぎとシンクロする。

②～⑥を1つのパッケージにして「森からの贈り物」

4 森からの贈り物Ⅱ (EVホールを医療スタッフを応援する森の伝言板に)



⑦医療スタッフにエール (応援) を贈る空間。
感染管理の厳しい閉鎖的なコロナ病棟での療養生活は、患者にとっても、それを支える医療スタッフの皆さんにとってもストレスの大きい環境となります。業務シフトの終わりに、感染区域の最後の扉を開けた先に、森の香りをたたえた空間をグリーンマットの壁面緑化でつくる。

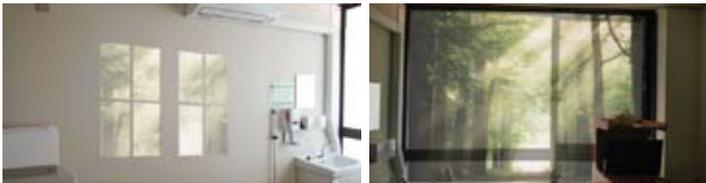
そのグリーンマットには、その日無事退院できた患者からの感謝のメッセージが「言の葉」=葉っぱ・花・蝶のカードに記されて添えられます。患者から医療スタッフへの最後の伝言となります。

⑧森林の香り成分でリフレッシュ
医療スタッフの皆さんが、一時だけでも厳しい医療態勢から解放されて、気持ちをリセットしながら、明日からの患者ケアに立ち向かいための気力を充て込んで頂くためのパワースポットになればと思います。森林の香りでごみまます。

「森からの贈り物」は、患者が入院時に受け取るパッケージの1つである「言の葉」=メッセージカードによって、医療スタッフの皆さんにも繋がる「こころの絆」を構想する、11連続の提案です。

空間を自分に合わせた環境にカスタマイズ!

5 デジタルアートで病室にホッと一息つける窓を



感染症での入院により面会が困難であるなど、感染症拡大以前の入院と異なった状況になっていると考えます。そこで、療養空間でのストレスを課題とし、デジタルアートで“ホッと一息つけるような窓”と“好みに合わせて選べるコンテンツ”について検討しています。

< コンテンツ >

“自然の中にいるような環境映像・デジタルアート”を複数から選択できます。

< 機材、システムの特徴 >

1. 空間に馴染み、刺激を少なく楽に眺められるよう“あえて光量を低く投影”します
2. 静か故に隣の部屋の音やアラーム音が聞こえてしまう空間に“ゆっくり楽しめる音響”の提案
3. 体調に合わせて壁、天井に“場所を選んで投影”できるよう検討中。

< コンテンツの拡張性 >

以下は、導入の環境や条件によって検討可能です。

- ・既存コンテンツからも導入して選択肢を広げることができます
- ・子供達による制作物やリハビリにつながるコンテンツ、退院前の案内動画の制作も考えられます

空間を自分に合わせた環境にカスタマイズ!

6 スタッフステーションにもホッと一息つける窓を

感染症拡大以前よりも、さらに感染に留意しながら働かなければいけず、医療スタッフのみなさんも気を張って働いていると考えられます。病室での提案をスタッフステーションに応用することで、勤務中の医療スタッフのみなさんが休憩の時間に、“ホッと一息つけるような窓”を提供したいと考えております。

< コンテンツ >

“自然の中にいるような環境映像・デジタルアート”を複数から選択できます。

< 機材、システムの特徴 >

1. 空間に馴染むよう“あえて光量を低く投影”します
2. 休憩の時間に一息ついて“ゆっくり休めるような音響”の提案
3. 室内の設備レイアウトに合わせて壁、天井に“場所を選んで投影”できるよう検討中。

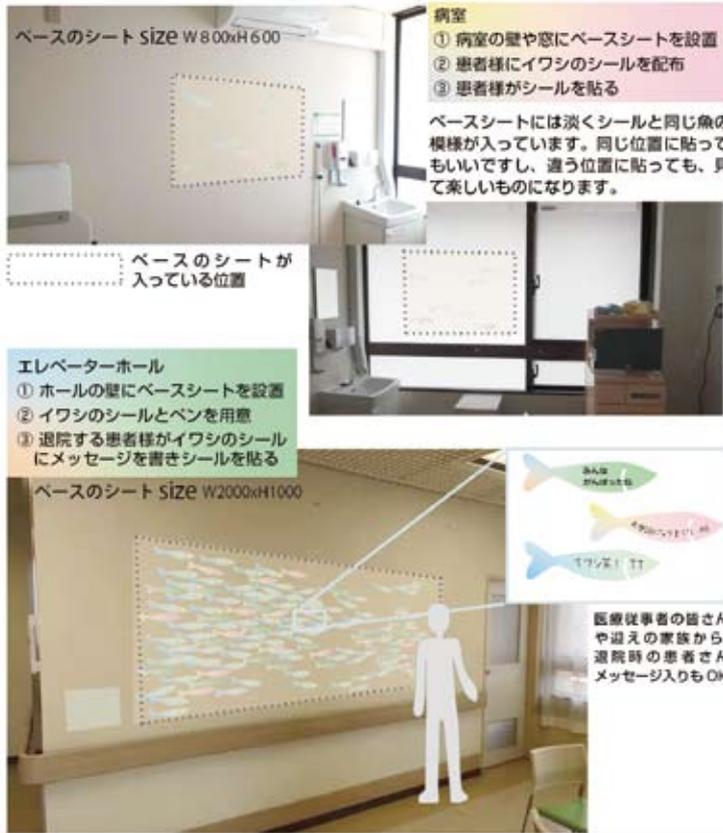
< コンテンツの拡張性 >

以下は、導入の環境や条件によって検討可能です

- ・既存コンテンツからも導入して選択肢を広げることができます
- ・仕事の合間のストレッチを促すコンテンツ



7 がんばらなくていい、できる時に貼ってみて！ ～癒しのイワシトルネード～



大きな海の中で小さな魚が群れを作るのは、命を守る行動でもあります。イワシをイメージしたシンプルで親しみやすい魚のシールから、生命力を感じて少し元気を分けてもらえるような、そんな効果を期待して企画しました。

■病室では、患者さんの体調に合わせて参加（シールを貼る）ことで、病棟の独特な緊張感や、閉塞感が、少しでも和らぐように期待しています。

■退院時に通るエレベーターホールでは、医療従事者や家族も参加が可能で、気持ちを共有できる場になればと考えています。

■個々の病室■

ベッドから見やすい位置にベースシートを貼り使用。そのまま過酢酸消毒して（少々剥がれてしまっても）使っていただけるのではという想定です。取組みの紹介と一緒に、10尾分のシール患者様に渡し、興味を持った方が参加する。壁や窓など剥がす際もベースシートごと剥がし手間がかからないようにします。

■エレベーターホール■

退院時、医療従事者や迎えの家族も参加した大きな群れを見ることが出来ます。メッセージを残すこともできるようにします。

8 みんなで共有！ゆびさんぽ



ゆびさんぽってなに??

人差し指と中指を両足に見立てて、手を使って歩いてみることです。

ベッドから起き上がれなくても、道具がなくても、指の動かし方で自分を表現できます。

せっかく歩いたから、動画を撮って共有しよう

うまく歩けたり、新しいアイデアを思いついたり…いっしょに入院している仲間と共有し たくなったら、限定公開のGoogle フォトに アップしましょう！

これから歩いてみたい人は、みんなの歩きっぷりを眺めるところからはじめてみる…という使い方もできます！

限定公開の範囲：リンク先を知っている入院患者さん、医療従事者様と、この企画を実践する、なごやヘルスケアアート・マネジメントが閲覧

ラクなんです

スマホがあればすぐできます。凝りたい人でも紙とペン程度で事足りるシンプルさです。

予算ゼロでも実現可能。

サンプルコースをデザインした紙を配布し、その上を歩いて楽しんでもらうこともできます！

お忙しい中、ご覧いただき、
ありがとうございました。

別紙のアンケート（A4 用紙両面印刷）に
ご記入をお願いいたします。
記入いただいたアンケートは
薄い黄色の封筒にお入れください。